

# カムコーダーサポート Camcorder Support Support pour caméscope 手持式撮録一体機支架

## 取扱説明書

### Operating Instructions

### Mode d'emploi

### Manual de instrucciones

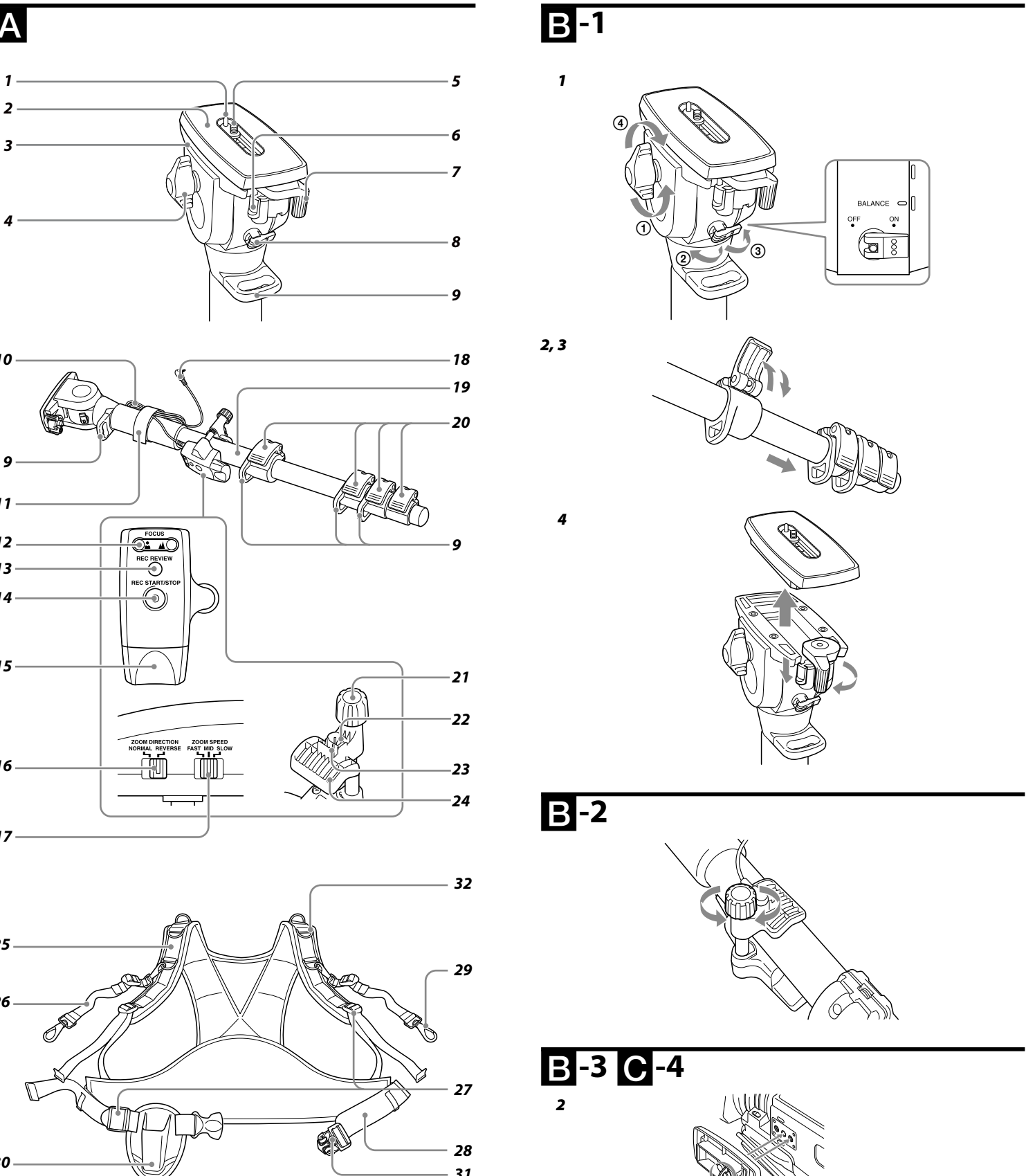
### 使用说明书

## VCT-SP1BP

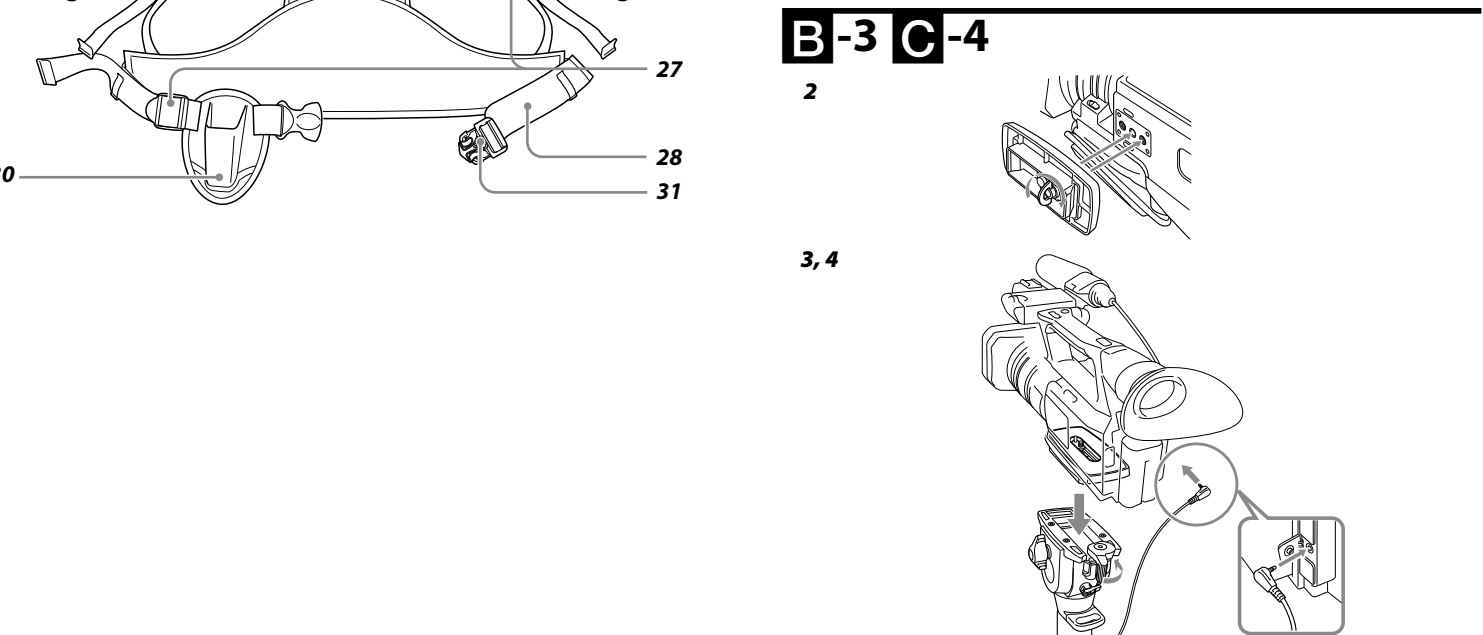
**警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取扱いが示されています。この取扱説明書をお読みの上、安全に安心してご利用ください。お読みにならないと、いづれで発生した場合に必ず責任を負うことになります。



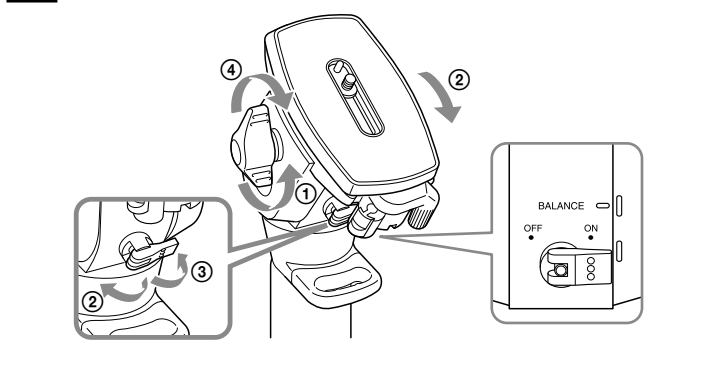
この説明書は、古紙76%以上の再生紙と、VOC（揮発有機化合物）ゼロ環境油型インキを使用しています。Printed on 70% or more recycled paper using VOC (Volatile Organic Compound)-free vegetable oil based ink.



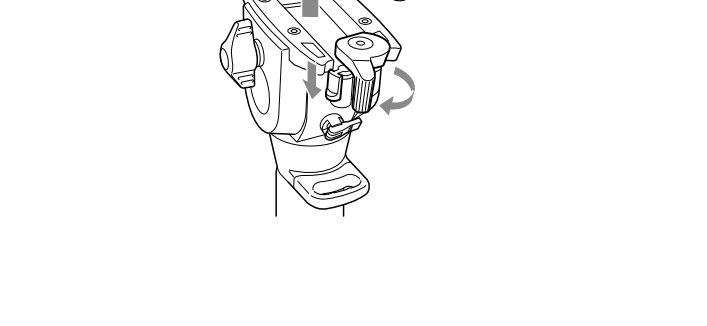
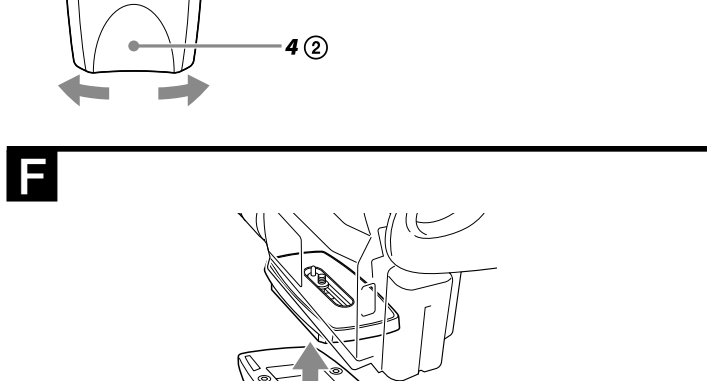
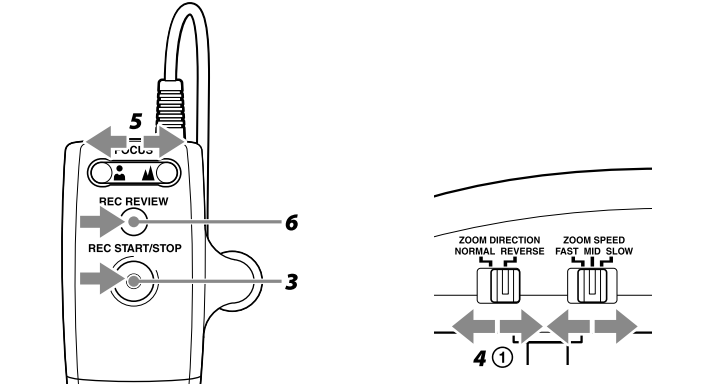
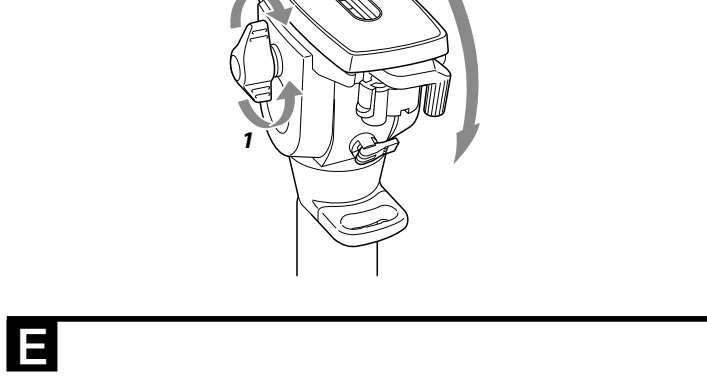
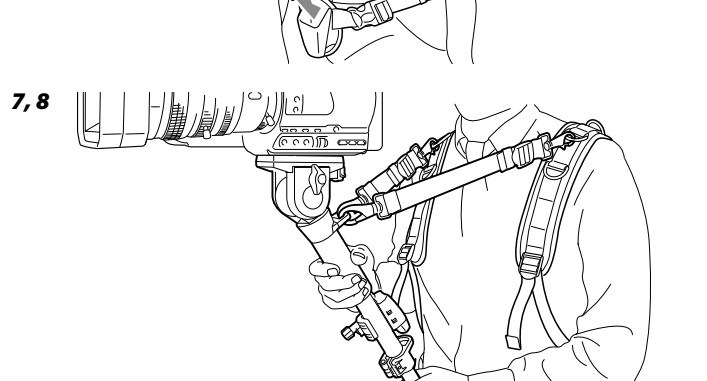
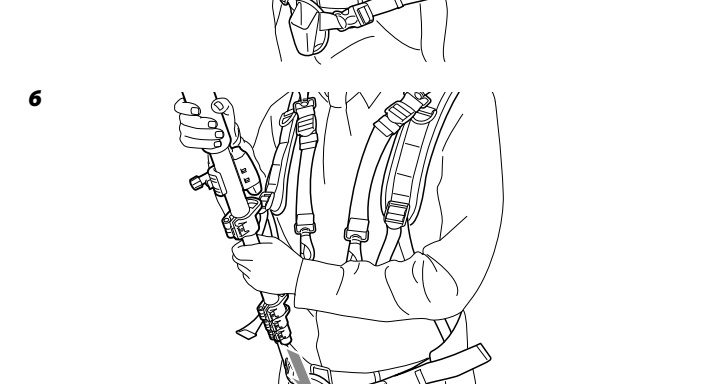
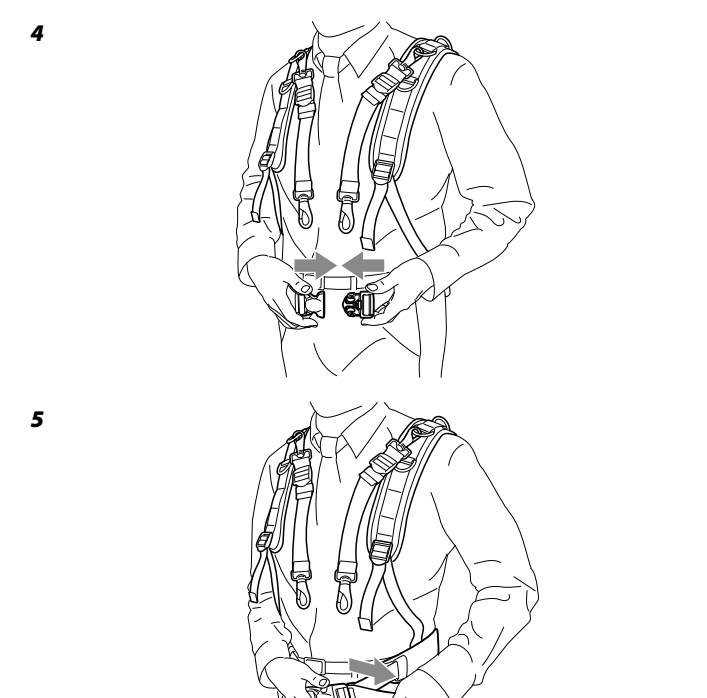
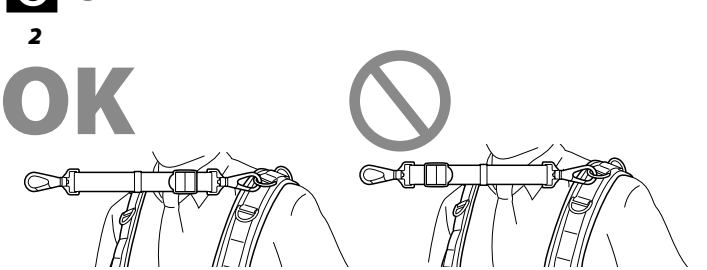
## B-2



## C-1



## C-3



## 日本語

付属のカマコーダーサポートは、お使いのビデオカメラの重量を肩、腰などに分散し、剛にかかる負担を軽減するための製品です。

### 警告 安全のために

●故障した使わない  
ご購入いただいた特約店、またはユニー業務用品店に関するお問い合わせ窓口にご相談ください。

**警告表示の意味**  
取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

**注意**  
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号	行為を禁止する記号	行為を指示する記号
指す	禁止	指示

**注意** 下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

**注意** 積載ビデオカメラおよび装着品の総重量（制限重量）を守る制限重量を超えると、一部が不安定になり、倒れたりしけがの原因となることがあります。

**注意** 使用するときは、ビデオカメラと一緒に手を添える手を離すとビデオカメラや脚が不安定になり、倒れたりしけがの原因となることがあります。

**注意** 各ロックまみやレバー、脚ロックレバー、カメラネジなどの締め付けは確実に締め付けて固定する締め付けが弱いと、ずれたりはれたりして、ビデオカメラの破損やけがの原因となることがあります。

**注意** 一脚をハースに取り付けて使う場合の注意を守る一脚を伸ばして使う場合、脚は最長で上から3段階（クイックシューから数えて3段階）までの長さでお使いください。これ以上の長さで使用する、不安定になり、倒れたりしけがの原因となることがあります。

**注意** サポートベルトをかけるフックホルダーはクイックシューから数えて3つ目までのフックホルダーをお使いください。これより下のフックホルダーを使用すると、不安定になり、倒れたりしけがの原因となることがあります。

**注意** リモコンは脚の使いやすさを優先して、脚の中心をクラブのV溝に合わせ、クラブフツマミを時計まわりに回して固定する。

**注意** リモコンを取り付けるときは、クラブフツマミを極端に強く締めすぎないようにご注意ください。

**注意** 一脚を安全な場所に置いておく。

**注意** ビデオカメラを取り付けたり取りはずしたりするときは、ティルトストッパーを確実に締め付けて固定する締め付けが弱いとカメラ台が傾き、ビデオカメラの破損やけがの原因となることがあります。

**注意** ビデオカメラの真下に人や物があるような使いかたをしないビデオカメラの取り付けが不充分などの原因で落下したとき、自分けがをしたり、人にけがをさせたり、損害を与えたりすることがあります。また、まわりの人や物にぶつからないようにご注意ください。

**注意** リモートコードを持って全体を持ち上げたり、動かしたりしない

**注意** 脚ロックレバーを指をささないように注意する脚ロックレバーを締めるとき、下図のように、指などをはさみ、けがをすることがあります。

**注意** ハースを装着して飛びはねたり、走ったりしないハースを装着したまま、一部がずれたりして、倒れたりしけがの原因となることがあります。

**注意** ビデオカメラを装着したまま、カウンターバランス切換レバーを操作しない不意にビデオカメラが動いて、故障したり、けがの原因となることがあります。

**注意** 脚ロックレバーを締めるとき、下図のように、指などをはさみ、けがをすることがあります。

**注意** 一脚を伸ばして使う場合、脚は最長で上から3段階（クイックシューから数えて3段階）までの長さでお使いください。これ以上の長さで使用する、不安定になり、倒れたりしけがの原因となることがあります。

**注意** サポートベルトをかけるフックホルダーはクイックシューから数えて3つ目までのフックホルダーをお使いください。これより下のフックホルダーを使用すると、不安定になり、倒れたりしけがの原因となることがあります。

**注意** ビデオカメラの真下に人や物があるような使いかたをしないでください。ビデオカメラの取り付けが不充分などの原因で落下したとき、自分けがをしたり、人にけがをさせたり、損害を与えたりすることがあります。また、まわりの人や物にぶつからないようにご注意ください。

**注意** リモートコードを持って全体を持ち上げたり、動かしたりしない

**注意** 脚ロックレバーを指をささないように注意する脚ロックレバーを締めるとき、下図のように、指などをはさみ、けがをすることがあります。

**注意** ハースを装着して飛びはねたり、走ったりしないハースを装着したまま、一部がずれたりして、倒れたりしけがの原因となることがあります。

**注意** ビデオカメラを装着したまま、カウンターバランス切換レバーを操作しない不意にビデオカメラが動いて、故障したり、けがの原因となることがあります。

**注意** 脚ロックレバーを締めるとき、下図のように、指などをはさみ、けがをすることがあります。

**注意** 一脚を伸ばして使う場合、脚は最長で上から3段階（クイックシューから数えて3段階）までの長さでお使いください。これ以上の長さで使用する、不安定になり、倒れたりしけがの原因となることがあります。

**注意** サポートベルトをかけるフックホルダーはクイックシューから数えて3つ目までのフックホルダーをお使いください。これより下のフックホルダーを使用すると、不安定になり、倒れたりしけがの原因となることがあります。

**注意** ビデオカメラの真下に人や物があるような使いかたをしないでください。ビデオカメラの取り付けが不充分などの原因で落下したとき、自分けがをしたり、人にけがをさせたり、損害を与えたりすることがあります。また、まわりの人や物にぶつからないようにご注意ください。

**注意** リモートコードを持って全体を持ち上げたり、動かしたりしない

**注意** 脚ロックレバーを指をささないように注意する脚ロックレバーを締めるとき、下図のように、指などをはさみ、けがをすることがあります。

**注意** ハースを装着して飛びはねたり、走ったりしないハースを装着したまま、一部がずれたりして、倒れたりしけがの原因となることがあります。

**注意** ビデオカメラを装着したまま、カウンターバランス切換レバーを操作しない不意にビデオカメラが動いて、故障したり、けがの原因となることがあります。

**注意** 脚ロックレバーを締めるとき、下図のように、指などをはさみ、けがをすることがあります。

**注意** 一脚を伸ばして使う場合、脚は最長で上から3段階（クイックシューから数えて3段階）までの長さでお使いください。これ以上の長さで使用する、不安定になり、倒れたりしけがの原因となることがあります。

**注意** サポートベルトをかけるフックホルダーはクイックシューから数えて3つ目までのフックホルダーをお使いください。これより下のフックホルダーを使用すると、不安定になり、倒れたりしけがの原因となることがあります。

**注意** ビデオカメラの真下に人や物があるような使いかたをしないでください。ビデオカメラの取り付けが不充分などの原因で落下したとき、自分けがをしたり、人にけがをさせたり、損害を与えたりすることがあります。また、まわりの人や物にぶつからないようにご注意ください。

**注意** リモートコードを持って全体を持ち上げたり、動かしたりしない

**注意** 脚ロックレバーを指をささないように注意する脚ロックレバーを締めるとき、下図のように、指などをはさみ、けがをすることがあります。

**注意** ハースを装着して飛びはねたり、走ったりしないハースを装着したまま、一部がずれたりして、倒れたりしけがの原因となることがあります。

**注意** ビデオカメラを装着したまま、カウンターバランス切換レバーを操作しない不意にビデオカメラが動いて、故障したり、けがの原因となることがあります。

**注意** 脚ロックレバーを締めるとき、下図のように、指などをはさみ、けがをすることがあります。

**注意** 一脚を伸ばして使う場合、脚は最長で上から3段階（クイックシューから数えて3段階）までの長さでお使いください。これ以上の長さで使用する、不安定になり、倒れたりしけがの原因となることがあります。

付属のカマコーダーサポートは、お使いのビデオカメラの重量を肩、腰などに分散し、剛にかかる負担を軽減するための製品です。

●お使いのビデオカメラが2つのカメラネジを使用できるときは、付属のカマコーダーサポートは、お使いのビデオカメラの重量を肩、腰などに分散し、剛にかかる負担を軽減するための製品です。

### A 各部のなまえ

1 ビデオボタ	17 スムーススピード切換スイッチ
2 クイックシュー	18 リモートプラグ
3 カメラ台	19 脚
4 ティルトストッパー	20 脚ロックレバー
5 カメラネジ	21 クランプフツマミ
6 セーフティロックレバー	22 リモートプラグホルダー
7 クイックシュー固定レバー	23 リモートコードホルダー
8 カウンターバランス切換レバー	24 クランプ
9 フックホルダー	25 ショルダーベルト
10 リモートコード	26 サポートベルト
11 コードベルト	27 ジヤクスター
12 FOCUS ボタン	28 エクスベルト
13 REC REVIEW ボタン	29 フック
14 REC START/STOP ボタン	30 受け部
15 スタートレバー	31 バックル
16 スムース方向切換スイッチ	32 環

### B 一脚を地面や床に立てて使う

ハースを使う前に、ビデオカメラを脚に取り付けて使う場合の取り付け手順です。

#### B-1 一脚を準備する

1 クイックシューを水平にする。  
① ティルトストッパーをゆるめる。  
② カウンターバランス切換レバーを左（OFF 側）に倒して、クイックシューを水平にする。BALANCE の指標が下側の指標に合うように位置を調節する。

③ カウンターバランス切換レバーを右（ON 側）に倒してから、カチッと音がして固定されます。カチと音がしない場合は、クイックシューを水平にする。BALANCE の指標が下側の指標に合うように位置を調節する。

④ ティルトのバネが効いていることを確かめ、ティルトストッパーを締める。

2 脚ロックレバーをゆるめ、クイックシュー側の脚から側に使いたい長さまで脚を伸ばす。

3 脚ロックレバーを締める。

4 セーフティロックレバーを下に下げながら、クイックシュー固定レバーを左へ倒し、クイックシューをはずす。

#### B-2 リモコンを取り付ける

1 リモコンのクラブフツマミを反時計まわりに回し、脚をはさめる位置までゆるめる。

2 リモコンが操作しやすい脚の位置を選ぶ。

3 脚の中心をクラブのV溝に合わせ、クラブフツマミを時計まわりに回して固定する。

・リモコンを取り付けるときは、クラブフツマミを極端に強く締めすぎないようにご注意ください。

#### B-3 ビデオカメラを取り付ける

取り付けられるビデオカメラおよび装着品の総重量は 5 kg 以下（制限重量）です。制限重量を超えて取り付けられません。

1 ビデオカメラにバッテリーやカセット、またはお使いのビデオカメラに対応したメディアをセットする。

・詳しくは、ビデオカメラの取扱説明書をご覧ください。

2 ビデオカメラにクイックシューを取り付ける。

・クイックシューのネジをビデオカメラの底部のネジ穴に合わせ、回して締めてください。

3 ビデオカメラを脚に取り付け、脚の中心をクラブのV溝に合わせ、クラブフツマミを時計まわりに回して固定する。

4 リモートプラグをビデオカメラの LANC 端子に接続する。

・リモートコードが長い場合は、コードベルトでシャフト部にまとめてください。

### C 一脚をハースに取り付けて使う

ハースを使う場合の取り付け手順です。

1 一脚を伸ばして使う場合、脚は最長で上から3段階（クイックシューから数えて3段階）までの長さでお使いください。これ以上の長さで使用する、不安定になり、倒れたりしけがの原因となることがあります。

2 サポートベルトをかけるフックホルダーはクイックシューから数えて3つ目までのフックホルダーをお使いください。これより下のフックホルダーを使用すると、不安定になり、倒れたりしけがの原因となることがあります。

3 ビデオカメラの真下に人や物があるような使いかたをしないでください。ビデオカメラの取り付けが不充分などの原因で落下したとき、自分けがをしたり、人にけがをさせたり、損害を与えたりすることがあります。また、まわりの人や物にぶつからないようにご注意ください。

4 リモートコードを持って全体を持ち上げたり、動かしたりしない

**注意** 脚ロックレバーを指をささないように注意する脚ロックレバーを締めるとき、下図のように、指などをはさみ、けがをすることがあります。

**注意** ハースを装着して飛びはねたり、走ったりしないハースを装着したまま、一部がずれたりして、倒れたりしけがの原因となることがあります。

**注意** ビデオカメラを装着したまま、カウンターバランス切換レバーを操作しない不意にビデオカメラが動いて、故障したり、けがの原因となることがあります。

**注意** 脚ロックレバーを締めるとき、下図のように、指などをはさみ、けがをすることがあります。

**注意** 一脚を伸ばして使う場合、脚は最長で上から3段階（クイックシューから数えて3段階）までの長さでお使いください。これ以上の長さで使用する、不安定になり、倒れたりしけがの原因となることがあります。

**注意** サポートベルトをかけるフックホルダーはクイックシューから数えて3つ目までのフックホルダーをお使いください。これより下のフックホルダーを使用すると、不安定になり、倒れたりしけがの原因となることがあります。

**注意** ビデオカメラの真下に人や物があるような使いかたをしないでください。ビデオカメラの取り付けが不充分などの原因で落下したとき、自分けがをしたり、人にけがをさせたり、損害を与えたりすることがあります。また、まわりの人や物にぶつからないようにご注意ください。

**注意** リモートコードを持って全体を持ち上げたり、動かしたりしない

**注意** 脚ロックレバーを指をささないように注意する脚ロックレバーを締めるとき、下図のように、指などをはさみ、けがをすることがあります。

**注意** ハースを装着して飛びはねたり、走ったりしないハースを装着したまま、一部がずれたりして、倒れたりしけがの原因となることがあります。

**注意** ビデオカメラを装着したまま、カウンターバランス切換レバーを操作しない不意にビデオカメラが動いて、故障したり、けがの原因となることがあります。

**注意** 脚ロックレバーを締めるとき、下図のように、指などをはさみ、けがをすることがあります。

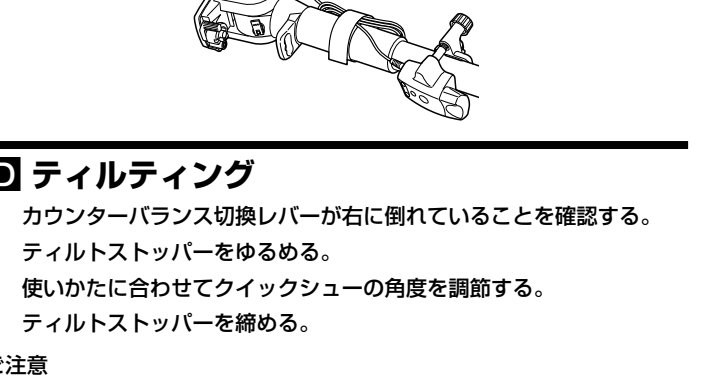
**注意** 一脚を伸ばして使う場合、脚は最長で上から3段階（クイックシューから数えて3段階）までの長さでお使いください。これ以上の長さで使用する、不安定になり、倒れたりしけがの原因となることがあります。

**注意** サポートベルトをかけるフックホルダーはクイックシューから数えて3つ目までのフックホルダーをお使いください。これより下のフックホルダーを使用すると、不安定になり、倒れたりしけがの原因となることがあります。

**注意** ビデオカメラの真下に人や物があるような使いかたをしないでください。ビデオカメラの取り付けが不充分などの原因で落下したとき、自分けがをしたり、人にけがをさせたり、損害を与えたりすることがあります。また、まわりの人や物にぶつからないようにご注意ください。

●お脚ロックレバーを締める。

・リモートコードが長い場合は、コードベルトでシャフト部にまとめてください。



## D ティルティング

1 カウンターバランス切換レバーが右に倒れていることを確認する。

2 ティルトストッパーをゆるめる。

3 使いかたに合わせてクイックシューの角度を調節する。

4 ティルトストッパーを締める。

●注意  
・ティルトストッパーをトルクの重さ調節には絶対に使用しないでください。故障の原因となります。

・確実にティルトストッパーをゆるめてから、ティルティングしてください。

### E リモコンで操作する

お手持ちのビデオカメラの取扱説明書もあわせてお読みください。

1 リモートプラグがビデオカメラの LANC 端子に接続されていることを確認する。

2 ビデオカメラをスタンバイ状態にする。

3 REC START/STOP ボタンを押す。

撮影が始まります。もう一度押すと、撮影が止まります（スタンバイ状態）。

4 ズームする。

① ズーム方向切換スイッチでズーム方向を選択する。  
② リモコンのズームレバーを回す。

### F NORMAL モード

時計まわり テレ側（望遠）：被写体が大きく写ります。  
反対まわり ワイド側（広角）：被写体が小さく写ります。

### REVERSE モード

時計まわり ワイド側（広角）：被写体が大きく写ります。  
反対まわり テレ側（望遠）：被写体が小さく写ります。

お手持ちの機器の種類によっては、ズームスピード切換スイッチと、ズームレバーを回す量によって、ズームスピードを変えることができます。

### SLOW モード

ズームレバーを回す量にかかわらず、一番遅いスピードでズームします。

### MID モード

ズームレバーを回す量に応じて、速くズームします。（4段階）

### FAST モード

ズームレバーを回す量に応じて、より速くズームします。（8段階）

5 自動ズームをオンに合わせる

ビデオカメラのフォーカススイッチを「手動」に切り換え、FOCUS ボタンを押す。

▲黒い押す：ピントを奥の被写体に合わせます。  
▲黒い押す：ピントを手前の被写体に合わせます。

6 テープを停止した状態を確認する

スタンバイ状態のときに、REC REVIEW ボタンを押す。

最後にテープを停止させた部分が、ビデオカメラの液晶画面に数秒間表示され、その後スタンバイ状態に戻ります。

●注意  
・本リモコンを使って、静止画を撮影することはできません。  
・用いたテープにHDV 規格とDV 規格を混在させた場合、REC REVIEW ボタンを押すと再生できません。再生中に再生が止まることがあります。故障ではありません。

●使用にならないときは  
リモートプラグは、リモートプラグホルダーに差し込んでおいてください。

### G ビデオカメラを取りはずす

「ビデオカメラを取り付ける」の手順の逆を行います。

●クイックシュー固定レバーは、安全のためセーフティロックレバーで回りがゆるみ止まるようになっています。

セーフティロックレバーを押し下げた状態で、クイックシュー固定レバーを回転させると、クイックシュー固定レバーが最後まで回転し、クイックシューがはずれます。

### 主な仕様

一脚（VCT-M1BP）  
積載ビデオカメラおよび装着品の総重量

5 kg 以下  
約 60 歳、身長 45 度  
全高 約 1 670 mm  
縦径 約 522 mm  
外形寸法

質量 約 1.3 kg  
脚の数 5 段

リモコン（RM-1BP）  
リモコン機能 REC START/STOP ボタン、FOCUS ボタン、REC REVIEW ボタン、ズームレバー、ズーム方向切換スイッチ、ズームスピード切換スイッチ

外形寸法 約 62 × 80 × 105 mm（幅/高さ/奥行き）  
リモートコード 約 1 000 mm  
質量 約 100 g

ハース（VCT-H1BP）  
外形寸法 約 320 mm × 500 mm × 350 mm（幅/高さ/奥行き）  
質量 約 700 g

同梱物 一脚 (1)、リモコン (1)、ハース (1)、キャリングケース (一部用) (1)、キャリングケース（カメラネジ (1)、印刷物一式）

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

## English

Before operating the product, please read this manual thoroughly and retain it for future reference.

VCT-SP1BP Camcorder Support is used for reducing the load on your arms by distributing the weight of your video camera to your shoulders and waist.



